

施策	2101 都市基盤の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	「市都市計画マスタープラン」に基づく適切な土地利用の推進、主要道路の整備推進、鉄道駅周辺の利用環境の充実等を図る。						
成果指標	幹線市道の改良率・・・5年間（平成25年度～平成29年度）で85.8%（現状値83.3%）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定	83.80	84.60	85.10	85.40	85.80
		実績	84.30	85.50			
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標3 [ ]	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 [ ]	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	706,848	796,849	0	0	0
実績		884,164	590,616			0	
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「道路の整備・保全に対する市民満足度」を向上させるためには都市基盤としての幹線道路の整備が重要であり本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	主要事業の達成率が地権者等の協力が得られない等の理由により平均58%と低い結果となったが、その他の事業については計画どおり整備が出来た。					
	課題	事業終盤に入り難しい案件が出てきており、一部事業を繰越したことから未達の事業が出た。事業計画の見直しと更なる関係権利者の理解と協力を得ることが必要である。					
	取組方針	関係権利者の理解と協力を得るため、事業の必要性について十分な事前説明を行い計画的な事業推進を図る。					
外部評価	<p>本施策の成果は、目標達成状況から順調に推移していると思われるが、幹線道路の整備において細切れ感がある。事業展開するにあたり、地元説明会の段階から地権者の立場になって丁寧な説明をすることにより、後の用地交渉を含めた整備事業がスムーズに運ぶものと思われる。</p> <p>鉄道駅周辺整備については、未利用の市有地を活用した栃木駅北口の活性化事業を早急に着手する必要がある。また、東武藤岡駅及びJR岩舟駅の駅前整備が今後事業展開されるにあたり、利用者、特に学生の安心安全に配慮した整備を要望する。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	407403	市道F6号線道路改良事業費（藤岡富吉1区）				31,006	100
	409702	市道O-527号線歩道整備事業費（大平新）				14,311	100
	430301	都市計画基本図作成事業費				8,418	100
	430401	新都市計画マスタープラン策定事業費				0	100
	492101	市道233号線（永宮橋）橋りょう整備事業費（栃木野中町）				7,450	100
	492201	スマートIC設置調査事業費				6,229	100
	493202	市道O-30・O-1号線道路改良事業費（大平下皆川）				1,695	100
	493803	藤岡駅前広場整備事業費				4,646	100
	701501	バリアフリー推進事業費				681	100
706102	市道O-159号線道路改良事業費（大平蔵井）				6,125	100	



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	407403	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	市道 F 6 号線道路改良事業費 (藤岡富吉 1 区)										主	2101	暮らしやすい都市の創出	都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	藤岡総合支 藤岡都建課 都市建設担当 道路整備チーム						担当者	田中 修		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法		事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	600,000		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道 F 6 号線 (藤岡富吉 ~ 蛭沼) を道路ネットワークとアクセス性の向上を図るため延伸し、用地買収・道路改築工事等により新設する。 L = 1,880m W = 10.0m A 21,000㎡ <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 道路ネットワークとアクセス性の向上及び安全で快適な通行を確保する。							
	成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)													

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容		その成果	
国庫支出金	0	0	平成 25 年度		平成 26 年度	
県支出金	0	0	【事業の内容】 市道 F 6 号線整備にあたり用地取得を実施する。		【事業の内容】 市道 F 6 号線整備にあたり用地取得を実施する。	
地方債	29,000	26,800	【成果】 用地取得 地権者 24名 28筆 5,940㎡ 物件補償 3件(立竹木補償)		【成果】 用地取得 地権者 11名 17筆 4,173㎡ H26年度末用地取得率 59% 物件補償 3件(立竹木補償等)	
その他特財	0	0				
一般財源	3,379	3,006				
事業費 a	32,379	29,806				
人件費 b	1,200	1,200				
減価償却費 c		0				
総事業費 a+b+c	33,579	31,006	指標名	算出方法	単位	
結果指標 1	17.54	22.01	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100 H26目標値 21.84%	%	
結果指標 2	0.00	0.00	道路整備延長	累積整備延長 H26目標値 0.0m	m	
事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 積極的に用地取得を推し進めるとともに、平成29年度の事業完成を目指す。 事業費コストの縮減 再生資源の活用による建設コストの削減により計画的に道路改良工事を実施する。
--------	---

事後評価備考	
--------	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	493803	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	藤岡駅前広場整備事業費										主	2101	暮らしやすい都市の創出		都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	藤岡総合支 藤岡都建課 都市建設担当 都市建設チーム						担当者	久保田 進				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		都市計画法		事業期間	H25 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	412,650		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 駅利用者の利便性を高めるため駅前広場の整備推進を図る。 A = 2,000m <sup>2</sup> 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 快適に利用できる駅前広場を整備する。								
							成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)								

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込											
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果									
	県支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	433	896										
	事業費 a	433	896										
	人件費 b	3,750	3,750										
減価償却費 c		0											
総事業費 a+b+c	4,183	4,646											
結果指標 1	0.10	0.30	事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100 H26目標値 0.3%	単位	%	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2								妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 藤岡駅東まちづくり研究会と連携を図り、円滑な事業推進に務める。													
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080403	予算事業コード	493901	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	今泉川川線道路整備事業費(栃木今泉町1・2丁目・日ノ出町)										主	2101	暮らしやすい都市の創出		都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		都市計画法、道路法			事業期間	H25 ~ H32 年度			全体事業費 (人件費除)	1,730,000		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 日ノ出町及び今泉町1・2丁目地内の都市計画道路今泉川線を、用地買収・改築工事により新設する。 ・道路改築工事 L=950.0m W=24.0~16.0m ・用地取得 約13,500㎡ ・物件補償 建物17棟、他工作物等 <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・広域幹線道路小山栃木都賀線との連携により東西軸の幹線道路を整備し、道路ネットワークの確保及び市街地形成を図る。 ・鉄道との交差道路を立体化することにより、安全で円滑な道路交通環境を確保する。					
	成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)											

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	8,600	6,900
	その他特財	0	0
	一般財源	1,008	865
	事業費 a	9,608	7,765
	人件費 b	1,500	1,500
減価償却費 c	0	0	
総事業費 a+b+c	11,108	9,265	

事業の内容 その成果	平成25年度	平成26年度
	<b>【事業の内容】</b> 道路拡幅事業に必要な測量業務及び鉄道事業者と立体交差部についての協議を実施する。 <b>【成果】</b> 道路拡幅事業に必要な測量業務及び鉄道事業者と立体交差部についての協議を実施した。 ・鉄道事業者協議 立体交差部の事前協議	<b>【事業の内容】</b> 道路拡幅事業に必要な地質調査、橋梁予備設計業務及び鉄道事業者と立体交差部についての協議を実施する。 <b>【成果】</b> 道路拡幅事業に必要な測量業務及び鉄道事業者と立体交差部についての協議を実施した。 ・鉄道事業者協議 立体交差部の事前協議

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	道路整備延長	累積整備延長 H26目標値: 0m								m
結果指標 2	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100 H26目標値: 1.00%								%
妥当 有 適正 有効 無 有										

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)									
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討									

事後評価備考										
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080401	予算事業コード	712506	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	岩舟駅南口整備事業費										主	2101	暮らしやすい都市の創出		都市基盤の充実	
担当部課 係・担当チーム名	岩舟総合支 岩舟都建課 都市建設チーム						担当者	五十畑 肇				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		都市計画法		事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	15,000		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 岩舟駅周辺地区について、駅への安全なアクセス道の確保、駅南口駅前広場の整備、駅周辺地区の計画的な土地利用による定住促進・生活環境の向上を図るため、岩舟駅周辺地区整備基本計画を策定する。 ・全体計画 68.3ha 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 駅への安全なアクセス道の確保、駅南口駅前広場の整備、駅周辺地区の計画的な土地利用による定住促進・生活環境の向上を図るため、岩舟駅周辺地区整備基本計画を策定する。								
	成果目標	幹線市道の改良率・・・5年間(平成25年度~平成29年度)で85.8%(現状値83.3%)														
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金															
	県支出金															
	地方債															
	その他特財															
	一般財源		512													
	事業費 a		512													
	人件費 b		5,250													
減価償却費 c																
総事業費 a+b+c		5,762														
結果指標 1		3.00	協議会の開催	開催回数(H26目標値：3回)		単位										
結果指標 2					回											
事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有				
	妥当	無	適正	有効	無	有										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域住民の意見を踏まえ、庁内関係各課、関係機関との連携を図り、協議・検討のうえ費用対効果の高い区域設定や事業手法を見出し、効率的な事業の推進に務める。															
事後評価備考																